

# 大道場修行



## 受講申し込み

大道場修行は、年中無休で開講しており、どなたでも受講できます。申し込みの際には、次の事項を大道場にお伝えください。

- 日程 ※分割でも受講できます。(1泊2日以上)
- 住所・氏名・年齢・電話番号
- 所属(信徒の場合)
- 過去の修行回数

【料金】※受講料は無料です  
 テキスト代…500円  
 宿泊費…一泊850円  
 食費…朝食250円  
 昼・夕食各400円

※その他、亀岡から綾部への交通費(JR)として約1,000円(片道)が必要です。

### 【申込先】

大本本部 大道場課  
 電話 0771(56)9081  
 FAX 0771(22)9921  
 Eメール dojo@oomoto.or.jp  
 大本HP <http://www.oomoto.or.jp>  
 ※HPの「大道場修行」のページからお申し込みください。

## 心の垢を落としす名湯

日々、体の疲れがたまるように、心にも、知らず知らずのうちに、疲れや悩みがたまります。心の疲労はやがて行動に表われ、体にも影響を与えていることがあります。

大道場修行は、例えるならば、日ごろたまった心の垢を「神さまのみ教えのお風呂」によって落とし、心をきれいにする「名湯・秘湯」といえます。

修行中は、世間のしがらみから離れ、神さまへのお祈りを中心に生活し、み教えを学びます。カラカラに乾いていた心は、あたたかい「神さまの愛」に包まれ、癒やされ、潤いを取り戻します。

大道場修行は、あなたの人生を有意義に送るための、貴重な五日間になることでしょう。



「修行」と聞くと、一般的には、滝に打たれたり、山林を駆け巡ったり、断食をするなどして、心身を錬磨することを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか？  
 大本の「大道場修行」は、それらとはちよつと違います。さて、どのようなことをする所でしょうか？  
 皆さんにご紹介しましょう。



みろく博士

### 大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター  
〒623-0036  
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター  
〒621-8686  
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (56) 9081 (大道場)

東京本部 東京宣教センター  
〒110-0008  
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>  
※「大本いろは」は大本ホームページ(信徒専用ページ)から、カラーでダウンロードできます



<連絡先>





## 大道場修行とは？

大道場修行は、大本の教祖の一人、出口王仁三郎聖師が、青年時代に霊山・高熊山の岩窟で一週間の修行をしたことにあやかっけて行われており、「神さまの大いなる道を学ぶ場」ということから、大道場修行といわれています。京都府にある大本の二つの聖地、亀岡・天恩郷と、綾部・梅松苑で、五日間にわたって大本の歴史やみ教え、人生の目的などを、講座を中心に学びます。

初日～四日目午前  
 ……京都府亀岡市天恩郷  
 四日目午後～最終日  
 ……京都府綾部市梅松苑

修行中は普段の生活から離れ、神さまを中心に規則正しい生活を送ります。ここでは、生活そのものが修行です。よりよく生きるためのヒントが、思わぬところから見つかるかもしれませんよ。



## 大道場修行の生活

起床…午前5時30分



朝の礼拝（朝拝）…午前6時30分  
 夕方の礼拝（夕拝）…午後5時10分



食事は食堂で  
 朝…朝拝後  
 昼…午前の講座後  
 夕…夕拝後



各講座を受講  
 （午前・午後・夜間）



就寝…午後10時



## 日程

前夜	初日	2日目	3日目	4日目	5日目
「修行の心得」 ※苑内設備や修行中の生活について説明します	開講式 「大本の出現」 「救世の神業」 天恩郷神苑案内 「歴代教主さまのご神業」	「神と人」 食作法 「霊界の実在」 お作品拝観 「四大綱領」	高熊山・瑞泉苑参拝 「祝詞の意味」 「四大主義」 歓きの座（座談会）	「現代の大本」 ※綾部へ移動 梅松苑神苑案内 「みたままつり」 うぶごえ浄写	天王平・奥都城参拝 長生殿参拝・修了奉告 大八洲神社参拝

※「」は講座

## バラエティに富んだプログラム

### 講座

大本のみ教えや歴史、霊界について、また、よりよく生きるための心のあり方などを学びます。（講座ごとに講師が変わります）



### 食作法（二日目の昼食）

茶道の茶懐石の作法に準じた食事のいただき方を体験。食の大切さと天地の恩典に対する感謝の心を学びます。



### 神教殿

亀岡市天恩郷にある神教殿は、大道場修行専用の講堂で、亀岡での講座はここが中心となります。神教殿の講座室には椅子席もあり、ご年配や足の不自由な方も、快適に講座が聴講できます。また、子供と一緒に受講できる小部屋もあります。詳しくは、受講申し込みの際にお問い合わせください。



「神教殿」  
 （京都府亀岡市天恩郷）

### 神苑案内（亀岡・綾部）

神苑内を散策しながら、大本の歴史を学びます。四季おりおりに変化する美しい風景もお楽しみください。



（亀岡…初日 綾部…四日目）

### 高熊山参拝（三日目）

出口王仁三郎聖師の修行の地、高熊山（亀岡市曾我部町穴太）に登ります。歩きやすい靴で行きましょう。（登り口から二十分程度）高熊山の岩窟前では、礼拝の後、鎮魂（瞑想）を行います。



### おおよしま 大八洲神社参拝

大道場修行の最終日は、綾部・梅松苑の金竜海にある大八洲神社に、舟に乗って参拝します。この舟（竜宮丸）は、修行の全日程を修了した人だけが乗ることができ、専用の舟です。日本と世界の国土の型として造られた金竜海を渡り、修行修了の奉告と、期間中のご守護のお礼を申し上げます。



金竜海を渡って、大八洲神社へ